

令和5年度関東高等学校男子バスケットボール大会
兼 第77回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
＜Bブロック 1回戦＞

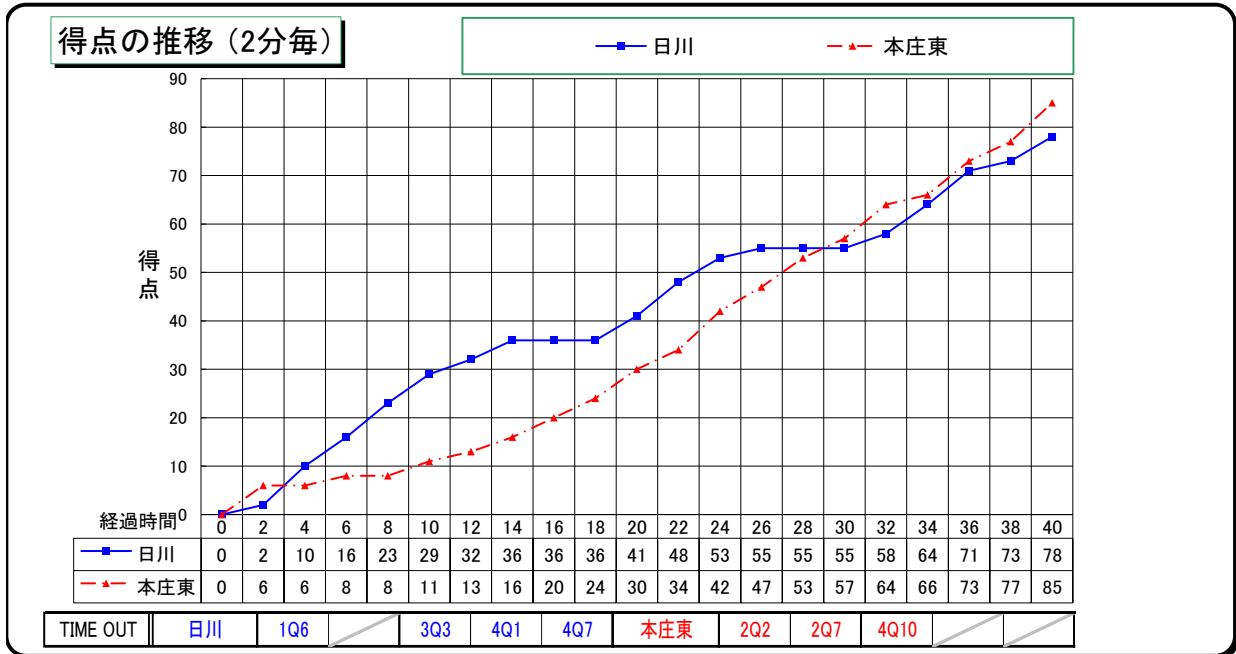
令和5年6月3日(土)	アダストリアみとアリーナ	大会1日目	Cコート	第1試合 9:00～													
<チームA> 日川 山梨		78	<table border="0"> <tr><td>29</td><td>1Q</td><td>11</td></tr> <tr><td>12</td><td>2Q</td><td>19</td></tr> <tr><td>14</td><td>3Q</td><td>27</td></tr> <tr><td>23</td><td>4Q</td><td>28</td></tr> </table>	29	1Q	11	12	2Q	19	14	3Q	27	23	4Q	28	85	<チームB> 本庄東 埼玉
29	1Q	11															
12	2Q	19															
14	3Q	27															
23	4Q	28															

主審: 平原 勇次(東京) 第1副審: 吉水 湧樹(茨城) 第2副審: 星野 駿(茨城)

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	0	三枝 尋斗	20	5	11	2	2	1	2	4	1	2	4
○	1	河野 拓真										1	
◎	2	杉山 友哉	12	4	10					3		1	3
○	3	中村 優斗				1				1		3	
○	4	橋本 勇太									2	1	
○	15	米山 春陽				1				2			
○	19	滝田 雄大					1						1
◎	20	萩原 諒	24		4	11	13	2	4	1	1	4	
	21	武井 陽翔											1
◎	23	廣瀬 晴信	4			1	6	2	2	5	1	5	1
	24	中村 優介											
○	34	萩原 圭祐											
○	59	松永 敏音	3			1	2	1	2				
◎	91	竹島 賢太	11	1	6	4	5			2		3	1
○	99	加々美 亜夢	4			2	2			1	1	2	
		コーチ 古屋 貴弘											
合計			78	10	31	21	33	6	10	19	4	23	12

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
○	1	本田 嵩征	4	1	3			1	2				4
○	9	横田 颯斗										1	1
◎	24	貝崎 旬	26		2	10	15	6	7	2	5	6	3
	25	山本 捷人											
○	27	栗林 颯良											
◎	30	高橋 悠生	7	1	1	2	6		1	2		3	2
◎	31	重野 佑菜	3	1	3				1	2		3	
◎	32	木村 天	32	4	13	4	7	12	14	3		6	3
◎	33	滝澤 芭琉	13	2	1	3	13	1	1	2	1	7	1
	34	柏坂 恭輔											
	38	木暮 爽太											
○	39	田端 優一											
○	40	馬場 圭吾											
	44	杉山 大樹											
	46	亀田 凌雅											
		コーチ 木村 太											
合計			85	9	23	19	41	20	26	12	6	25	14

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート / 2P:2点シュート / FT:フリースロー / F:パーソナルファウル



戦評 記入者: 戸塚 賀久

男子1回戦、日川と本庄東の対戦。両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。序盤は、両チームともに攻守の切り替えで展開を速くしていく。日川が#2杉山、#0三枝の3Pや#23廣瀬のシュートが点数を重ねていく。本庄東も#32木村を中心に攻撃を仕掛け点数を取りに行く。しかし日川の勢いが止まらず、さらに#20萩原が得点を重ね、29-11と日川リードで第1Q終了。

第2Q開始早々に31-13となったところで、本庄東が1回目のタイムアウトを取る。そこから落ち着きを取り戻し、徐々に攻撃の流れが良くなり、#30高橋、#32木村の果敢な1対1から得点を重ねる。第2Qでは12-19と本庄東が流れをつかみ、41-30で前半を折り返す。

第3Q、本庄東はディフェンスを1-2-2のオールコートゾーンプレスから、1-3-1ゾーンディフェンスに切り替え、日川に対抗する。日川は#20萩原のシュートで得点を重ねるが、流れは本庄東に傾き#32木村を中心に反撃を開始する。日川は外角のシュートが思うように決まらず苦戦する。日川も開始2分34秒でタイムアウトを取り、オールコートマンツーマンに切り替える。しかし本庄東の勢いは止まらず、残り1分15秒#33滝澤のシュートで55-55と同点に追いつく。残り16秒で1対1を仕掛けた#32木村が、ファウルを受け、獲得したフリースローを2本決め55-57と本庄東が逆転し第3Qを終了。

第4Q、開始早々に本庄東#32木村の3P、#24貝崎のシュートが連続で決まり、55-62となったところで日川がタイムアウトを取る。日川はディフェンスを厳しく、本庄東にプレッシャーをかける。日川は#2杉山の3Pで対抗し64-64の同点に追いつく。対する本庄東は#24貝崎が1対1で攻撃を仕掛け、連続で得点する。残り3分18秒71-75と本庄東リードの場面で日川が後半3回目のタイムアウトを取り、流れを引き戻そうとする。しかし本庄東の勢いを止めることができず、#32木村、#33滝澤の3Pが決まり、追撃する日川を振り切り78-85で本庄東が勝利を収めた。